

1 収入 ①稼働率 (%)

	R2年度	R3年度	前年差	R4年度 (見込)	前年差	R5年度 (計画)	前年差
特養	98.8	98.8	0.0	99.2	0.4	99.0	-0.2
短期入所	91.0	91.6	0.6	92.7	1.1	93.0	0.3
小規模多機能	90.8	92.5	1.7	89.3	-3.2	92.5	3.2

③介護予防支援計画 (件)

	R2年度	R3年度	前年差	R4年度 (見込)	前年差	R5年度 (計画)	前年差
包括支援センター	3,920	4,113	193	3,956	-157	3,960	4

(現状と対策)

- 【施設介護】 重度者(要介護度4以上)の比率が8割を超え、入院リスク及び介護業務の増加。今年度実績：看取り12名、入院しそのまま退居2名。介護、看護、主治医との連携強化継続。コロナ・インフルエンザ予防対策及び万が一のクラスター時の対応に継続。
- 【短期入所】 短期利用に関するコロナ・インフル対策をし、長期利用者の率を上げていく。稼働率90%以上を継続して確保していく。

2 支出 ①人件費率

(事業活動収入、人件費：単位：千円)

	R2年度	R3年度	前年差	R4年度 (見込)	前年差	R5年度 (計画)	前年差
事業活動収入	324,794	340,792	15,998	343,212	2,420	344,245	1,033
人件費	215,429	232,196	16,767	230,118	-2,078	230,075	-43
人件費率	67.2%	68.1%	1.0%	67.0%	-1.1%	66.8%	-0.2%

(現状と対策)

- ・夜勤職員配置加算の3名体制を2人体制にし人件費の削減、職員の業務負担解消を行う
- ・新卒及び専門職の人材確保を継続。(産休予定職員：2名予定)

3 人材の採用、定着、育成

- ・新卒者の確保に努める(今年度実績：3人)。次世代を見越し高卒者の獲得を目指す。
- ・離職者を避けるため、職員のメンタルヘルスや職員のライフスタイルの変化に応じた働き方の要望を面談等で吸い上げ、長く続けられる職場の環境整備に努める。特にコロナ対策に対するケアに努める。
- ・コロナ感染症対策のため職員研修・勉強会が書面による回覧など不十分な期間が続いている。また、研修等が延期、中止となることが続き必要研修が受けられず、次世代が育っていない。研修等が再開されれば積極的参加をバックアップしていく。

4 利用者サービスの質の向上

- ・ユニットケア(個別ケア)の質を高め、入居希望、入職希望者が集まる事業所を目指す。
- ・事業所内の自己評価のみならず、運営推進会議など第三者によるサービス評価を実施する。
- ・地域の社会資源として情報発信をし、地域の高齢者からも頼られる事業所を目指すため行政、他施設及び医療機関と連携し地域の高齢者の生活を支援していく。
- ・防犯・防災対策に力を入れ、職員研修を実施し、利用者及び職員が安心安全に生活できるよう配慮する。

5 地域における公益的な取組

- ・地域の認知症高齢者支援の一環として、地元公民館や近隣住民の方々との「認知症高齢者一人歩き見守り模擬訓練」を実施し、高齢者の安心安全な生活に取り組んでいく。
- ・認知症高齢者対応に関し、地域行事や公民館などと、連携を図りコロナ禍での工夫を行っていく。

6 年間行事

4月・5月	6月・7月	8月・9月	10月・11月	12月・1月	2月・3月	会議・委員会	その他
お花見(ドライブのみで対応)	七夕会(個別開催)	納涼祭・敬老会・運動会	寿司パーティ・紅葉ドライブ	クリスマス・餅つき・忘年会・新年会	節分・ひな祭り	入所判定会議・経営会議・運営推進会議 各種委員会・施設内勉強会(毎月)	消防設備点検・避難訓練(2/年)・防犯訓練(1/年) 水害訓練(1/年)職員健康診断(2/年)・インフルエンザ予防接種 必要に応じた職員ストレスチェック、 福井市と連携したワクチン接種。

今年度は、外出行事に関して中止ではなく、感染対策に注意し車から下りない範囲で外出を楽しんでいただいた。来年度もコロナ感染対策をしながら徐々に外出、近所散歩などを再開し高齢者の健康維持に努める。納涼祭・クリスマス・餅つきなどは、最小単位で個別に開催した。家族、地域住民を含めた多数での開催は出来なかった。

7 理事会への報告事項(理事長専決事項は全て記入)

- ・施設内新型コロナクラスター発生(施設介護2月)感染者：利用者6名、職員1名、短期入所(11月)感染者：利用者8名、職員5名)
- ・令和4年度「福井県福祉施設における省エネ設備等支援事業」を活用し施設の電灯をLED化2,000千円(内、県からの助成金は1,342千円)(横山電機発注)

②要介護度

	R2年度	R3年度	前年差	R4年度 (見込)	前年差	R5年度 (計画)	前年差
特養	4.1	4.2	0.1	4.2	0.0	4.2	0.0
短期入所	3.0	2.8	-0.2	2.9	0.1	2.8	-0.1
小規模多機能	2.2	2.6	0.4	2.6	0.0	2.5	-0.1

【小規模多機能】登録者29名を確保する。(令和4年度平均25.9名)

【包括支援センター】ベテランの退社及び新卒者の配属による再スタートとなるため、「介護予防支援計画」及び「総合事業計画」を月平均330件行い、重点業務委託(実態把握、介護予防教室開催、地域ケア会議開催、地域向け認知症関連業務等)等従来業務の確実な実施を継続する。

【全体】感染症対策で職員のストレス度が増えている。効率化を進め軽減していく。また、今回の新型コロナ感染によって、サービス維持が課題となり介護事業者に課された事業継続計画(BCP)を完成させ、継続的サービス提供を行います。

②その他経費(単位：千円)

	R2年度	R3年度	前年差	R4年度 (見込)	前年差	R5年度 (計画)	前年差
水道光熱費	9,465	10,281	816	11,640	1,359	15,690	4,050
修繕費	1,502	17,051	15,549	2,343	-14,708	1,552	-791
介護用品費	1,270	1,388	118	1,533	145	1,456	-77
保健衛生費	1,207	875	-332	1,049	174	889	-160
研修研究費	271	335	64	395	60	395	0

※水道光熱費 北陸電力値上げ試算考慮

※R3年度修繕費 施設建物外壁工事14,850千円含む

(その他)

- ・マスクなど感染対策用品は価格が落ち着きつつあるが、継続して抗原検査キット、PCR検査キットで、施設内感染を未然に防ぐ。
- ・職員のストレスチェック値が高い現状がある。産業医と相談の上必要があれば、ストレスチェックの回数など増やし、体調管理、離職を未然に防ぐなど対応していく。
- ・キャリアパスに基づき、職員一人ひとりに必要な知識・技術が習得できるよう施設内のみに限らず、外部団体の研修の機会も提供し、社会福祉の専門職としての倫理・資質向上を図る。
- ・職員の意欲向上を目的に人事考課制度を効果的に活用し、施設サービスの質の向上に繋がるよう職員の一人ひとりの成長に必要な指導を行い、次期役職者を育成していく。また、キャリア段位制度を活用していく。

・ユニットケア(個別ケア)推進のため、外部研修や目的別研修に職員を参加させ、個人的なキャリアアップを含め、より良いサービス提供を目指すための職員教育を充実させる。

・職員、入居者の5回目コロナワクチン接種は終了しましたが、3度の施設内感染者発生を教訓を生かし、引き続き感染対策を行い「施設サービスの継続」、福祉・介護の停止を防いでいく。